

令和8年(2026年)3月24日(火)  
(公財)広島平和文化センター  
平和記念資料館学芸展示課 課長:豆谷  
電話:242-7796 内線5804  
担当:土肥・下村優

## 広島平和記念資料館 令和7年度第2回企画展

### 「被爆した東南アジアの留学生—国を超えた友情—」を開催します

このたび広島平和記念資料館は、広島で被爆した外国人のうち東南アジアからの留学生(「南方特別留学生」)に焦点を当てた企画展を開催します。広島平和記念資料館や他機関の所蔵する貴重な資料110点に関係者の証言も交えて、留学生たちの原爆被害の実態と市民との交流を紹介します。

#### 1 期間

令和8年(2026年)3月27日(金)～令和8年(2026年)9月8日(火)

#### 2 会場

広島平和記念資料館東館1階企画展示室

#### 3 展示構成

- (1)東南アジアから日本へ
- (2)広島での生活
- (3)南方特別留学生の被爆
- (4)南方特別留学生の戦後と語り伝える市民

#### 4 展示点数

写真パネル、実物資料、映像など110点

#### 5 入場料

無料

#### 6 その他

別紙チラシもご参照ください。

# 被爆した 東南アジアの留学生

— 国を超えた友情 —

会期 2026年3月27日-9月8日

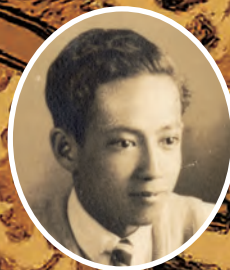
会場 広島平和記念資料館 東館1階 企画展示室  
(広島市中区中島町1-2 平和記念公園内)

入場料 無料

◆詳しい来館案内はこちらから→



サイト・オマールさん



アブドゥル・ラザクさん



ハッサン・ラハヤさん



シャリフ・アディル・サカラさん



ベンキラン・ユソフさん



モハマッド・タルミディさん



ニック・ユソフさん



アリフィン・ベイさん



スティオさん



サム・スハエディさん

# 被爆した東南アジアの留学生

— 一国を超えた友情 —



興南寮跡碑

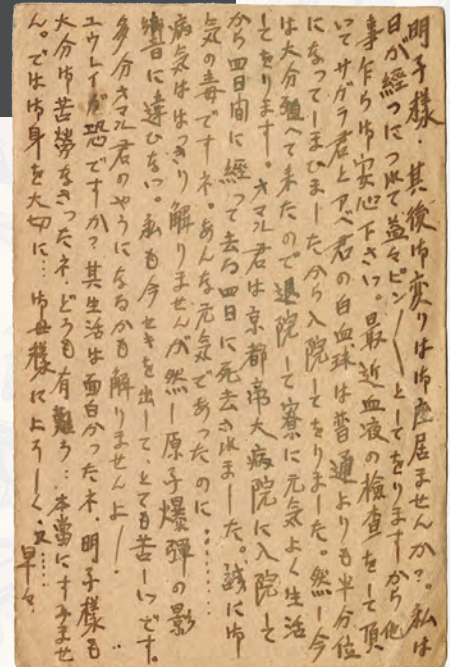
広島平和記念資料館から南に10分ほど歩いた元安川の川土手に1基の碑が立っています。碑の名称は、「興南寮跡碑」。興南寮は、広島に原爆が投下された当時、「南方特別留学生」として日本政府が招いた東南アジアからの留学生が住んでいた場所でした。

東南アジアを占領していた日本の政策によって来日した彼らは、地元の人たちと交流を深めました。原爆が投下された時には、傷つき、仲間を失う困難な状況の中でも、周りの人たちを励まし助け合いました。そうして育まれた絆は、戦後、彼らが故郷に戻った後も絶えることなく、世代を超えて現在まで続いています。

本展では、広島平和記念資料館や他機関の所蔵する貴重な資料100点以上に関係者の証言も交え、南方特別留学生の原爆被害の実態と市民との交流を紹介します。

## 「オマル君は京都帝大病院に入院してから（中略）死去されました。誠に御気の毒ですネ。あんな元気であったのに……」

南方特別留学生アブドゥル・ラサクさんから栗原明子さんへの手紙  
(1945年9月7日消印) 栗原明子寄贈



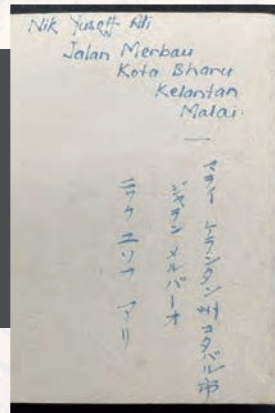
### 寮職員の上遠野寛子さん(右)と原爆で亡くなった南方特別留学生サイド・オマルさん

1944年3月28日 東京 広島大学文書館所蔵



### 原爆で亡くなった南方特別留学生ニック・ユソフさんの直筆サイン

1944年  
広島大学文書館所蔵



### 興南寮跡碑を訪れた留学生たち

1995年8月6日  
早川幸生寄贈



### バックル

立命館大学国際平和ミュージアム所蔵

興南寮・寮監の永原敏夫さんの遺体は、南方特別留学生のアブドゥル・ラサクさんとペンギラン・ユソフさんが発見しました。特徴的なバックルから永原さんだとわかりました。



### 表面の写真

サイド・オマルさん、ニック・ユソフさん: Raja Haniza Binti Raja Hanipuddin 寄贈 / アブドゥル・ラサクさん、ハッサンラハヤさん、ペンギラン・ユソフさん: 栗原明子寄贈 / シャリフ・アディル・サガラさん、モハマッド・タルミディさん: 広島大学文書館所蔵 / アリフィン・ベイさん: (公財) 広島平和文化センター制作 / サム・スハエティさん、ステイオさん: 中村千重子提供